

## 重点的に取り組む主な経営課題

8 働きがいも  
経済成長も11 住み続けられる  
まちづくりを

## 経営課題5

【歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化の推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【令和3年度 区民アンケート】※＜&gt;は令和2年度区民アンケート

・「天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる」と回答した区民の割合 64.5%&lt;64.6%&gt;

【平成25年度 区民アンケート】（「天王寺区ギャップ調査」等）

・「区内にある歴史的・文化的施設やイベントなどの情報を発信し、多くの方に天王寺区を訪れていただきにぎわいのあるまちづくりをめざす方向性に賛同する」と回答した区民の割合 86.6%

・回答した区民の持つ天王寺区のイメージ

「神社仏閣が多い街」93.5% 「歴史のある街」91.9% 「文教都市（学校が多い街）」86.2%

・回答した区民が今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージ

「神社仏閣が多い街」20.3% 「歴史のある街」18.8% 「文教都市（学校が多い街）」10.9%

【平成30年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】

・今後の天王寺区役所と地域住民・団体との連携イベント企画へのご意見

歴史ウォーク 95件(28%)

音楽イベント 62件(18%)

まちパル 60件(17%)

※(%)はいただいたご意見数(計345件)に対する割合

要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

・区民アンケートに回答した区民の持つ天王寺区のイメージと、今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージとが一致しており、さらなるPRが求められている。

・区内には、約200もの社寺や動物園、美術館など多くの歴史的・文化的資産、学校園が集積し、様々な伝統行事等が開催されている。

・「天王寺 真田幸村博」(平成26・27年度)を契機に活発化した地域住民・地域団体・企業等の魅力発信の取組みを支援してきた。

・周辺区（中央区・阿倍野区・住吉区など）と共催した「大阪・熊野街道歴史ウォーク(平成29年度～令和元年度)」のほか、歴史街道、天王寺七坂や天王寺ゆかりの文学、聖徳太子などの区内の歴史・観光資産を広く知っていただく取組みを地域団体と連携して実施することにより、天王寺区の魅力を発信してきた。こうした取組の結果、区民アンケートで「天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる」と回答した区民の割合はコロナ禍の影響もあり65%となっており、新型コロナウイルス拡大防止対策を講じたうえでさらなる効果的な情報発信が必要と考えられる。

・地域住民・地域団体・企業等によるイベントの実施など地域の主体的なにぎわいづくりの取組みが着実に進捗しており、こうした取組みを区としてしっかり支援していく必要がある。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

区内の歴史的・文化的資産の効果的な情報発信による地域の活性化

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・天王寺区の歴史と文化について「名水の痕跡を探る」「凸凹地形の謎を紐解く」をテーマに、てんのうじ再発見セミナーを地域の観光ボランティア団体と連携して開催したことにより、歴史的・文化的資産に恵まれた区の魅力の発信を行うことができた。

・地域住民・地域団体・企業等が行う講演会やまちあるきイベント等、住民が主体に行う魅力発信につながる活動をサポートできた。

・区内の国公立の中学・高等学校が一堂に会する「吹奏楽フェスティバル」を開催することができた。

・イベント参加者には好評を得たものの、「天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる」と回答した区民の割合の数値は目標に達しておらず、広報の強化、新たなイベントの開催など、魅力発信につながる取組みについて、改善すべき点が多い。

・引き続き、地域団体・学校・民間企業による歴史・文化資産を活かした天王寺区の魅力発信に関する様々な取組みをサポートすることで、多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出を図る。

めざす成果及び戦略 5-1 【天王寺区の魅力発信】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 天王寺区の魅力発信が十分にできている状態		戦略（中期的な取組の方向性）	
	アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） ・区民アンケートで「天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる」と回答した区民の割合 令和6年度までに 80%以上		・周辺地域や地域住民・地域団体・企業等が行う天王寺区の魅力発信につながる取組を支援するとともに積極的に連携し、ICTの効果的な活用を図りつつ天王寺区の魅力発信の一層の強化に取り組む。 ・区内に多く立地する私立・公立・国立の中学校、高等学校も含めた多くの学校園と連携した取組を進め、にぎわいづくりや地域の活性化につなげる。	

自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカム指標の達成状況		前年度	個別	全体
	天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる区民の割合 62.9%		64.5%	B	B
	A: 順調 B: 順調でない				
戦略の進捗状況	b	a: 順調 b: 順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組5-1-1 【天王寺区にぎわいづくり事業】

2決算額 758千円 3予算額 1,875千円 4予算額 2,000千円

計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
	「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」を実現するため、周辺地域や地域住民・地域団体・企業等が行うまち歩きや講演会などの様々な取組について、共催や後援による支援を行い、区の魅力発信の強化に取り組む。 ・天王寺区の歴史的・文化的資産の魅力を発信するための歴史講演会 1回、まち歩き 2回 ・周辺地域や地域住民・地域団体・企業等が行う地域主体の魅力発信につながる取組への支援 適時 ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加 ・吹奏楽フェスティバルの開催 1回 ・上町台地周遊マップの増刷・配布 20,000部	区民アンケートで「天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる」と回答した区民の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】 50%未満の場合は、事業手法を再構築する。
計画		前年度までの実績
		令和3年度 ・聖徳太子ウォーク 1回 ・聖徳太子をテーマとした講演会 1回 ・上町台地周遊マップ(3年度版)の作成・配布 10,000部 ・吹奏楽フェスティバル 1回 ※達成状況 64.5% 令和2年度 ・聖徳太子ウォーク(北コース・南コース) 2回 ・歴史・文化講演会(天王寺ゆかりの文学、聖徳太子) 0回 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・上町台地周遊マップ(2年度版)の作成・配布 10,000部 ・吹奏楽フェスティバル オンライン開催 ※達成状況 64.6% 令和元年度 ・大阪・熊野街道歴史ウォーク(北コース・中コース・南コース) 3回 ・歴史・文化講演会(古地図でみる天王寺、聖徳太子) 2回 ・上町台地周遊マップ(元年度版)の作成・配布 10,000部 ・吹奏楽フェスティバル 1回 ※達成状況 71.6%

中間振り返り	プロセス指標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退・再構築基準未達成	
中間振り返り	戦略に対する取組の有効性	
	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す ー:プロセス指標未設定(未測定)

自己評価	当年度の取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須	
	・てんのうじ再発見セミナー(講演会1回・まちあるき1回) ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加 ・上町台地周遊マップ(4年度版)の作成 20,000部及び配架 ・てんのうじ観光ボランティア協議会等、団体との連携及び事業支援 ・吹奏楽フェスティバル 1回	天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる区民の割合が前年度実績を下回っている。魅力発信事業の認知度の低さを解消し、地域の活性化を高める必要がある。	
	プロセス指標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須	
	天王寺区の魅力発信・観光振興ができていていると感じる区民の割合 62.9%	② (i) 区内の地域資源やイベント情報の発信強化するため、ウェブサイトやSNSの活用、周遊マップの配付などを行う。 また区内事業所・関係機関等にも情報提供を行い、積極的な周知協力をお願いするとともに、観光ボランティアへのサポートを強化する。 区内の学校との連携を深め、芸術・文化豊かなまちづくりを推進する。	
自己評価	戦略に対する取組の有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す ー:プロセス指標未設定(未測定)